

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

平成25年10月30日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0873200349		
法人名	医療法人社団 正信会		
事業所名	グループホーム れんぎょう	ユニット名	西館
所在地	〒319-0206 茨城県笠間市安居3144-521		
自己評価作成日	平成25年5月18日	評価結果 市町村受理日	平成25年10月23日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2011_022_kani=true&JigyosyoCd=0873200349-00&PrefCd=08&VersionCd=022
-----------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成25年7月5日	評価確定日	平成25年9月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

本人の持てる力を引き出し 発揮できるような援助や支援ができるように努めています
理念を共有し 日々の生活の場で支えあう事ができるように配慮しています

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

介護サービスを低価格で提供するため、法人全体の食材や消耗品などを一括購入し、経費削減につなげる努力をしている法人である。
中庭に花壇を設け、利用者が花壇の手入れをしながら季節の花を楽しめるよう支援している。
管理者は職員がストレスを感じずに気持ちよく働けるよう、職員同士の相性を考慮しながらユニット間の人事異動をしたり、小学生以下の子どもがいる職員の場合は早出や遅出のない勤務体制にしたりしている。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を共有し 日々実践につながる様に努めています	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所の理念を全職員で話し合っって作成し、玄関や各ユニットに掲示している。 朝のミーティング時に、その日のリーダーが中心となって全職員で理念を唱和し、確認して実践につなげるよう努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	交流は多くは無いが 近隣の方から野菜を頂く事や 困りごとなどの相談が来る事があります 自由に出入りされている利用者は 近隣と交流があるようです	事業所の納涼祭や敬老会などの行事に地域住民を招待したり、地域の小学校の社会福祉教育の実習を受け入れたりして、地域住民と交流を図っている。 散歩時に近隣住民から野菜のお裾分けを頂くなど、近所付き合いをしている。 幻覚症状がある地域の一人暮らしの高齢者から電話で、「蜂に刺されたので救急車を呼んでほしい」や「家の前で車が燃えている」などの相談事を受けた場合は、職員が訪問して様子を見るなど、ともに暮らす地域住民の一員として、必要とされる役割を担っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	行事への参加を依頼する事などで 認知症の人への理解は出来ていると思います	/	
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議での意見は サービスの質の向上に活かしています	運営推進会議は家族等や市職員、民生委員、地域住民で2ヶ月に1回開催している。 会議では入居状況や行事報告をしたり、参加者から出た意見等を話し合ったりしている。 一人で外出してしまう利用者への対応策を会議で話し合い、靴に名前や住所を記入して対策を講じるなど、出た意見等を運営に活かしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	推進会議等の機会に市職員と普段から話ができるように努めています	運営推進会議に市の職員が必ず出席できるよう、会議の終了時に次の開催日を決定している。 電話や郵送で済むことでもできるだけ市の担当課や地域包括支援センターなどに出向き、生活保護受給利用者の相談をしたり、事故報告をしたりして、協力関係を築くように取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の禁止や対象については理解でき職員は共有できている 現在 家族等の許可を得て 車椅子からの転落 ズレ落ち防止の為に抑制をしている人が居ますが 随時話し合い必要最低限にしています	職員は身体拘束の内容とその弊害について理解するとともに、身体拘束排除に向けたマニュアルを基に、身体拘束をしないケアに取り組んでいるが、やむを得ない場合には車いす用ベルトを使用したり、玄関を施錠したりしている。 やむを得ず車いすベルトを使用する場合には、家族等と話し合って書面で同意を得るとともに、身体拘束解除に向けて定期的に話し合っている。 玄関を施錠することについて、入居時に口頭で家族等に説明して同意を得ているが、書面で同意を得たり、解錠に向けて定期的に話し合うまでには至っていない。 身体拘束廃止に向けた研修を定期的実施するまでには至っていない。	玄関の施錠について、利用者や家族等に書面で説明して同意を得るとともに、解錠に向けて定期的に話し合うことを期待する。 身体拘束廃止に向けた研修を定期的実施することを期待する。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	言葉の暴力に注意しあい 介護困難事例は随時話し合い 虐待が起こる事が無い様にしています 随時 虐待防止会議を行っています		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	学ぶ機会はありませんが 権利利用度制度を利用されている方が居ます		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分納得 理解を得た上で利用していただいております	/	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置し 家族の来所時には近況の報告をし 意見を求めたりして 要望を引き出すように努めています		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	随時話し合うことが出来 月1回の会議が代表者を交えてあり意見を述べる事が出来ます 困った事は随時話す機会を設けてくれています	管理者は毎月の全体会議で職員に意見や提案を出すように働きかけるとともに、随時何でも相談ができる雰囲気づくりを心がけ、職員の悩みなどを聴くようにしている。 管理者は職員がストレスを感じずに気持ちよく働けるよう、職員同士の相性を考慮しながらユニット間の人事異動をしたり、小学生以下の子どもがいる職員の場合は早出や遅出のない勤務体制にしたりしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員一人一人が責任を持って仕事ができ 疲れすぎる事が無いようなシフトが組まれています 家庭の状況にも配慮してくれる事もあります	/	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的な研修はありませんが内部研修や必要な研修は参加しています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	お互いの職場の研修などで交流し質の向上が出来るように取り組んでいます		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用開始時に十分聞き取り不安の無い生活が送れるように随時寄り添い安心できるように援助しています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	今困っている事などを聞き不安に思う事がなくなる様に努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	今何に困っているのか 心配は何かを聴き出来る事出来ない事を説明し話し合うことができるように努めています		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者と協力しながら掃除やイベント会場を作ったりしています 掃除は出来る範囲で一緒にしています		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	外出や買い物などは家族に協力をお願いしています		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の依頼があれば電話などの支援をしています また 家族にお願いしています	入居時のアセスメントで利用者や家族等から話を聴き、馴染みの人や場所を把握している。 職員は利用者の馴染みの人がいつでも気楽に来訪できるよう、来訪時にはお茶を出して接待するほか、親しい人との電話のやり取りや手紙の投函を支援している。 家族等の協力を得ながら、利用者が馴染みの理・美容室を継続して利用ができるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士が助け合う事が出来るように配慮すると共にトラブルとなる事が無い様に努めています		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約の終了は逝去である事からお付き合いはありません		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	その人の生活歴や生活習慣 家族からの情報を得た上で 本人の思いや意向を推し測るようにしています	職員は利用者のアセスメントのほか、日々の言動や表情、しぐさから思いや意向の把握に努めている。 意思疎通が困難な利用者の場合は、利用者の表情から思いの把握に努め、できるだけ利用者本位のケアに努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用時に情報を提供していただいたり 家族からの聞き取りを行っては把握する様に努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申し送りなどで把握し 職員同士共有するように努めています		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議で話し合い 家族の意向や本人の思いを尊重して作成に努めています	計画作成担当者は利用者や家族等の意見や要望のほか、運営母体である協力医療機関の看護師や職員の情報を踏まえながら、利用者一人ひとりの思いや残存能力を重視した介護計画を作成するとともに、3ヶ月毎のモニタリングや評価に基づき見直している。 利用者の心身の状態に変化が生じた場合には、随時現状に即した介護計画に見直している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子を記録 申し送りを聴き 職員同士共有するようにして 実践に役立っています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	随時家族と相談しながら対応しています		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの依頼や 小学生との交流で楽しんで過ごす事が出来るように支援しています		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院が受診がほとんどですが 従来どおりに他病院受診の時には 家族の協力を得ています	利用者や家族等の希望にそったかかりつけ医への受診を支援しており、協力医療機関への受診は職員が付き添うほか、月2回の訪問診療が受診できるよう支援している。 協力医療機関以外のかかりつけ医への受診は家族等が付き添うこととしているが、家族等が付き添えない場合は職員が付き添い、受診ができるよう支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々些細な変化も 職員同士共有し 必要に応じて看護師に相談しています		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際には サマリーで情報を提供し 安心して療養が出来るように 面会などにも行っています 其の都度 看護師から今の様子を聞き 早期退院ができるようにしています		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取り介護はしていませんが家族や本人が望むのであればできるだけホームで過ごす事が出来るように支援しています	重度化や看取りに向けた事業所の対応指針を管理者や職員、医療関係者で話し合っ作成している。 法人の方針で看取りは行わないこととしており、契約時に利用者や家族等に書面で説明して同意を得ているが、実際には看取りの経験があり、昨年度は1例実施している。 利用者ができるだけ長く事業所で過ごせるよう嚥下の状態に合った形態の食事を提供したり、時間をかけて食事介助をしたりして全量摂取できるよう努めているが、全職員を対象に終末期の症状や終末期ケアに関する研修を実施するまでには至っていない。	全職員に終末期の症状や終末期ケアに関する研修を実施することを期待する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救命救急の講習に参加しています		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練をしています 隣接する施設との共同訓練を予定しています 推進会議を通じて近隣の協力を依頼する	避難訓練は年2回実施し、内1回は消防署指導のもとで実施しているが、近隣住民の参加は得られていない。 避難訓練の実施記録を作成し、訓練で明らかになった課題を全職員で話し合い、共有して次回の訓練に活かしている。 災害時に備え、米や飲料水などを備蓄している。	災害時に近隣住民の協力が得られるように、運営推進会議や民生委員を通して避難訓練への参加を働きかけることを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人が安心して生活が出来るように 尊厳 プライドを尊重して声掛け 支援をしています	職員は利用者に対する呼び方や言葉遣いに気を配り、特にトイレ誘導の際には利用者の耳元で声けるなど、利用者の尊厳を大切にした支援をしている。 契約書や同意書などの個人情報に関する書類は、管理者が事務室の施錠ができるロッカーに保管し、情報の漏洩に留意している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常の中で随時 本人の意向を確認して支援しています			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の生活のリズム 流れはありますが 一人ひとりの希望に添った支援ができるように努めています			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	各個人 自身で選んだ洋服を着ています 時折 これいいだろうとか其の色良いねと話す声も聞こえてきます			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	本人の力量に応じた食事の提供（刻み食・粥食・トロミ食）をしています 気が向くと食器を洗う人や配膳下膳は行ってくれます	本部の管理栄養士が栄養バランスの取れた献立を作成しているほか、食材は本部が一括して購入している。 利用者は職員と一緒に台所で調理をしたり、盛り付けや配膳、後片付けをしたりして食事を楽しんでいる。 職員は利用者に温かい食事を提供し、利用者と一緒に食事をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	日々の食事摂取量を記録し定期的に体重測定をし水分は十分摂取できるようにしています	/	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを支援しています 定期的に歯科衛生士の訪問があります	/	
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定時トイレ誘導をしています 夜間はオムツ使用の方もおりますが排泄はトイレでを基本にして日々努めています	職員は排泄チェック表を基に、利用者一人ひとりの排泄パターンに合わせて声かけやトイレ誘導を行い、トイレでの排泄を支援している。 職員が適切にトイレ誘導をすることにより、利用者は日中はおむつを使用せず、リハビリパンツで過ごせるよう支援している。 失禁で羞恥心や恐怖心を抱かぬよう、夜間と日中ではパッドを使い分けたり、体型に応じた物を使用したりして排泄の失敗を防ぐ工夫をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘をする事が無い様に食事や水分の摂取 運動ができるように支援しています 頑固なものは医師に相談しています		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴日は決まっていますが 菖蒲湯 ゆず湯などを行い季節感を味わい ヌックリ入浴できるように支援しています	毎日午前中に入浴支援を行っており、最低週2回は入浴ができるよう支援している。 決まっている入浴日以外でも利用者の希望があれば入浴ができるよう支援している。 入浴を嫌がる利用者には無理強いせず時間をずらしたり、足浴や清拭などで対応したりして清潔保持に努めている。 季節に合わせて菖蒲湯や柚子湯を取り入れ、季節を感じながら入浴を楽しめるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調に応じて随時休む事は出来ませんが 夜間不眠とならない様に支援しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	副作用については職員で共有し誤薬が無い様に努めています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々の清掃の役割があります 家庭菜園や花を育てる事を楽しんでいる人も居ます 気分転換のために 毎日の散歩は欠かしません		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節ごとにドライブや花見に出かける事はしていますが 日常的な外出は散歩や 近所の買い物だけとなっています 本人希望の場所には家族に協力を頂いています	職員は利用者が日常的に買い物に出かけたり、天気の良い日には事業所周辺を散歩ができるよう支援したりして五感を刺激し、季節の移り変わりを楽しめるよう支援している。 つつじなどの花見やドライブに出かけ、生活に変化を付けながら楽しめるよう努めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理している人も居ますが (3名ほど) お金を持っている方は居りません		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をかけたたり手紙を書いている人が居ます 手紙はポストへの投函を支援しています 電話はダイヤルを回すなどの支援を行っています		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花を飾り 陽の光が強すぎたりしないように配慮し テレビや話声の音の大きさに注意しています フローアや居室の温度にも注意しています	職員は利用者が季節を感じられるよう、玄関に七夕飾りなどの季節の飾り付けをしている。 利用者が居心地よく過ごせるよう居間に長椅子やテレビを配置しているほか、6畳の和室を設けている。 居間以外でも利用者が一人で過ごしたり寛げるよう、玄関の広い廊下に金魚鉢を置いたり、公衆電話やテレビ、長椅子を設置したりしている。 居間の壁には利用者と職員が一緒に制作した紫陽花の切り絵などを飾り、季節感を取り入れた明るい空間づくりをしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファの配置があるので 思い思いのところで過ごせるように配慮しています	/	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた物の持込をお願いします 居室は 自身の思うように配置し 自由に使用されています		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりの設置 バリアーフリーとなっている事で 自立して生活ができるように支援しています 場所の混乱が無い様に目印を置いたりもしています	/	

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目標達成計画

事業所名 グループホームれんぎょう

作成日 平成25年10月23日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	13	災害時に近隣住民の協力が得られるように働きかける	近隣住民 推進委員などが参加しての避難訓練が出来る	避難訓練時に参加の依頼や会議等を行い 参加する事や意見をいただくようにする (参加は無いが見学はある)	1年
2	5	玄関の解錠や身体拘束の研修に定期的に参加する	玄関の解錠に向けての話し合い 身体拘束についての研修に参加できる	玄関の解錠は 利用者の状況により解錠できるように施設環境等に配慮する 身体拘束は研修の機会があれば参加をし 内部研修を行う	1年
3	12	終末期ケアに関する研修の実地	終末期ケアの予定は無いが なるべくホームで過ごす事が出来るよう医療関係者との交流を持続する	なるべくホームで過ごす事が出来るよう医師・看護師に随時意見や指導を受けて今後行う	現在行っている
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。